



1月の園だより

令和7年 1月4日

目黒区立祐天寺保育園 園長

あけましておめでとうございます。

ご家族の皆様で穏やかなお正月を過ごされましたでしょうか。保育園は5歳児クラスで作ったしめ縄飾りで新たな歳を迎えました。

しめ縄に使った藁は、春の土づくりと田植えから、5歳児クラスで育てた稲の物です。水やりやスズメ除けのネット張り等のお世話をしてきたのですが、秋に収穫し脱穀してみるとほとんどの稲が小さくて実ができていませんでした。とれたのは、ほんの数粒だけです。子どもたちは「スズメに食べられちゃったのかな?」「もっと早くネットを張った方が良かったか?」「お水が足りなかったのかな?」と原因を考えていました。そして、出てきたのは「お米を作るのって大変なんだね」との言葉でした。大人たちの栽培方法の反省もありませんでしたが、子どもたちはちゃんと新たに気づき、学んでくれたようです。そんな貴重な藁でした。

それぞれがしめ縄を作り終えた後に、数人が片付けながら短い藁を使っていろいろな形の物を作り始めました。小さくて独創的なしめ縄がいくつもできました。今年も良い歳になりそうです。

本年も保護者の皆様と一緒に、子どもたちの笑顔を守ってまいりたいと思います。職員一同どうぞよろしくお願いいたします。

【1月の行事予定】

2歳児クラス懇談会

まちごっこ

3歳児クラス懇談会

ポニー教室（4、5歳）

1歳児クラス懇談会

【今後の懇談会日程】

4歳児クラス懇談会

0歳児クラス懇談会

いずれも16時30分より保育園ホールで行います。
ご都合をつけてご参加ください。詳細は別途お知らせいたします。

屋上で遊んでいる時に

空を見上げていた子が飛行機雲を見つけて
指をさし「ひこうきがおえかきしてるー」
子どもの発想は豊かでユーモアがありますね。

（3歳児）

部屋の中で積み上げていた積み木が倒れ

てしまい「あー、壊れちゃった」と、悲しそうにして
いるとそばにいた友達が窓の外を見ながら一言
「今日、風強いからね」といいました。

みんなで外を見ながら「そうだね」と納得して
いる姿にほっこりしました。（3歳児）

小松菜と人参の種を蒔き毎日水をあげていると、少し
ずつ芽が出てきました。保育士が「何ができるのかな」
と聞いてみると「大きなかぶになるの」と嬉しそうに答
え「うんとこしょ、どっこいしょ」と大きなかぶの絵本
の世界に入り込んでいました。（2歳児）



* 0・1・2歳児クラスじゃれつき遊びの様子です *

じゃれつき遊びとは、体を触れ合わせながらじゃれ合い、思いっきり興奮し、発散させて楽しむ遊びです

ちゅうりっぷ組（0歳児）「触れ合う心地よさ、楽しい気持ち」

保育士と1対1で目と目を合わせた触れ合い遊びを大切にしてきました。『一本橋ちょちょちょ』などのくすぐり遊びのほかに、子どもたちが好きなのは『バスに乗って』の歌に合わせて、保育士の膝に座り体を揺らし動かす遊びです。歌詞の中の「右に曲がります」や「でこぼこ道です」の通りに、保育士が体を右に傾けたり、膝を上下に弾ませたりすると、嬉しそうに笑っています。バスが到着しても「ん、ん」と自分で体を傾けてもう1回してほしいことを伝えています。保育士の歌声と友達の楽しそうに笑う声に気がつき、周りの子どもその場で一緒に体を揺らしたり手を挙げたりして楽しんでいます。同じ空間の中で自然と遊びが広がっていく楽しい場面です。

人と関わり触れ合う心地よさを感じながら保育士と気持ちをたくさん通わせることで安心感や体を動かす楽しさ、いろいろな興味感心をひろげていきます。



たんぽぽ組（1歳児）「ピッツア」

保育士が部屋にマットを出すと、子どもたちはこれから何が始まるのかが分かり、自分からマットに横になり待っています。「今日は何を作って食べようかな」と言う保育士の言葉に、目をきらきらさせて期待のまなざしです。横になった子どもたちをピザに見立てて、「こねこね、こねて…」と体に触れこねる真似をしたり、トマトソースや醤油を塗る真似をして体全体を撫でてみたりすると、くすぐったような表情をしたり、嬉しそうに笑っています。「さあ、最後は焼きますよー5、4、3、2、1…」と数を数えながら、保育士が子どもの体の方に手を伸ばすと“くるぞ、くるぞ”とばかりに子どもたちもワクワクした表情でじっと待っています。そして、「焼けた、いただきます」とさらに手を伸ばして体に触れると、食べられることが嬉しくて体をくねらせて大笑いです。最近はピザだけではなく、お餅に見たててペタンペタンと餅をつくように触れてみるなど、バリエーションを増やして遊んでいます。楽しむ中で体がほぐれると、心もほぐれていく様子が見られます。



ひまわり組（2歳児）「いろいろなものになって、追いかけて」

ホールや屋上、散歩先の公園など広い場所に行くと、追いかけたり、追いかけられたりしてまずはたくさん走ることを楽しんでいます。保育士はオオカミやおばけになり、子どもたちもオオカミやゾンビ、恐竜、おばけ等いろいろなものに変身しています。保育士から逃げるのが楽しくて「きゃー」「来たよ、逃げて」と友だちに声を掛けながら喜んでいます。保育士に捕まえられた時にくすぐられたり、抱き上げられたりすることも楽しいので、にこにこ振り向きながら逃げる姿もあります。反対に子どもたちが保育士を追いかけて捕まえる時には足にしがみついたり、背中に覆いかぶさってみたりと、全身を存分に使って楽しんでいます。子どもたちとスキンシップをたくさんとりその時々で変わるイメージの世界を大切に、そして膨らませながら保育士も一緒に、心も体も温まる時間を楽しんでいます。

